

2011年 2月
早稲田大学入学センター

早稲田大学 文学部 一般入学試験問題の訂正内容

【世界史】

Ⅱ 設問 1 (問題用紙 2 ページ)

設問に対する適切な解答がありませんでした。当該箇所の設問について、解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることといたします。

以上

世 界 史
(問 題)
2011年度

〈2011 H23053424〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始してから、解答用紙の所定欄（2か所）に正確に、ていねいに記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。

受験番号は正確に、ていねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムで、ていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	● 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。1, 2は記述解答用紙の所定欄に記し, 3～5はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

人類はその歴史の大半を獲得経済, すなわち, 狩猟・漁労・採集活動に依存してきたが, 紀元前7000年頃, 西アジアにおいて食料を自ら生産する牧畜や農耕がはじまり, メソポタミアでは, 紀元前3000年頃には都市国家が成立した。同じ頃, エジプトにおいても上エジプトと下エジプトを統一する国家が誕生した。東アジアに目を転じると, 中国では黄河・長江流域で紀元前6000年頃に農耕がはじまり, 紀元前3000～2000年頃には, 玉器を特徴とする良渚文化, C に代表される竜山文化が成立するが, 最古の王朝がおこるのは前16世紀頃のことである。一方, アメリカ大陸では, メソアメリカにおいてトウモロコシが栽培化され, 紀元前2000年頃には各地に広まり, やがて都市が形成された。

設問1 下線部Aにおける階段状の基壇をもつ塔のことを何というか。

設問2 下線部Bの首都はどこか。

設問3 Cに入る語句を次の中から一つ選びなさい。

- イ 青銅器 □ 灰陶 ハ 黒陶 ニ 彩陶

設問4 下線部Dに関する下記の文章の中で誤りを含むものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ 先行する王朝の存在が想定されている。
 □ 亀甲, 獣骨などを用いて占いをおこなった。
 ハ 漢字の起源と考えられる文字資料が出土した。
 ニ 禪譲によって次の王朝に交替したと考えられている。

設問5 下線部Eに関連してアメリカ大陸起源の栽培植物として不適切なものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ トマト □ ジャガイモ ハ カカオ ニ アワ

〔II〕 次の文章を読み, 設問1～5に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

北方の異民族が侵入し, 国家の統制も弱まった魏晋南北朝時代は, 多様な思想・文化が開花した時代であった。インドで登場した仏教はすでに1世紀のころには西域から伝来していたが, 中国で広まるのは4世紀後半からで, その間多くの仏典の翻訳がおこなわれた。Bは直接インドに出かけて仏教を学び, 旅行記『仏国記』を著した。北朝では多くの石窟寺院が^Aつくられたが,Cでは塑像や壁画が華麗に彩色され, この世のものとは思えない美しい仏教世界が表現された。また魏・晋の時代には世俗を超越した清談が高尚なものとされ, 文学では対句をもちいた四六駢儷体がこの時期の特色ある文体であるが, 絵画では「女史箴図」の作者とされるD, 書ではEが有名で, 両者はその道の祖として尊ばれた。

設問1 下線部Aの仏典の翻訳をした西域僧を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

- イ 仏図澄 □ 義浄 ハ 杜甫 ニ 陶淵明

設問2 Bにふさわしい人物を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

- イ 玄奘 □ 法顕 ハ 鳩摩羅什 ニ 李白

設問3 Cにふさわしい石窟を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

- イ 竜門石窟 □ 雲崗石窟 ハ 敦煌石窟 ニ 響堂山石窟

設問4 **D** にふさわしい人物を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ 吳道玄 口 蘇軾 ハ 徽宗 ニ 顧愷之

設問5 **E** にふさわしい人物を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ 顔真卿 口 歐陽脩 ハ 白居易 ニ 王羲之

〔Ⅲ〕 次の文を読み、以下の設問に答えなさい。1, 2, 6はマーク解答用紙の所定欄にマークし、3～5は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

東西冷戦終結後の東アジアには、韓国と台湾の民主化、日本の55年体制の終焉など、大きな変動がほぼ同じ時期に起こっている。
A 前近代においても中国大陸、朝鮮半島、日本列島におよぶ東アジア地域の歴史の展開には、しばしば同時代性をみいだすことができる。たとえば、645年前後には高句麗、百濟、倭、新羅においてクーデターや内乱が起こり、権力を掌握した者が集権的な政策を断行している。それらの諸国の角逐は、唐の介入で一層しのぎをけずり、百濟、高句麗の滅亡を招いた。唐は朝鮮半島の支配をめざしたが、唐と新羅の戦争は、吐蕃の勃興がその推移に影響をおよぼした。この戦乱後には、朝鮮半島では統一新羅、中国東北地方では渤海、日本列島でも「日本」国がおこり、東アジア地域には、ほぼ同じ時期に **C** 体制を統治原理とする諸国家が成立している。これらの国家は、10世紀初頭に唐が滅亡すると、渤海、新羅が滅び、日本においても列島の東西で内乱が起こって、それまでの体制が瓦解していく。
D

また14世紀になると、元の支配が揺らぎ、天災と飢饉の中で中国の各地では叛乱が頻発するが、朱元璋が内乱を収束させて明をおこした。一方、朝鮮半島でも、南からの倭寇や北からの紅巾軍の撃退に功のあった **E** が権力を掌握し、やがて高麗に替わって朝鮮王朝を建てた。日本列島においても鎌倉幕府滅亡後の60年にわたる南北朝の内乱が足利義満によって収束したのは、朝鮮の建国と同じ時期のことであった。
F

設問1 東アジアにおける外交関係のうち、下線部Aの時期に該当しないのはどれか。

1 韓国・北朝鮮の国連同時加盟 2 韓国・ソ連国交樹立 3 中国・韓国国交樹立 4 中国、米国と国交正常化

設問2 下線部Bによって唐は朝鮮半島への軍隊を吐蕃との抗争に向けなければならなくなり、新羅との戦争は終結に向かった。

これに次いで起こった唐と吐蕃との抗争に乗じて勃興した国は次のどれか。

1 大理 2 大越 3 南詔 4 西突厥

設問3 **C** に入るべき適当な語句を記せ。

設問4 下線部Dについて唐の滅亡後、中国周辺の諸民族は、漢字の構造にならった独自の文字を作るが、中国と西方を結ぶ通商路に栄えた王朝が多くの仏典の翻訳にもちいた文字を何というか。

設問5 **E** に入るべき適当な語句を記せ。

設問6 下線部Fの時期に存立していない王朝はどれか。

1 ティムール朝 2 サファヴィー朝 3 マムルーク朝 4 キプチャク＝ハン国

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、図を見て設問1～5に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

A 帝国の首都 **B** にある聖ソフィア聖堂(図1)は、ドームをいただく独特の **A** 様式で建てられている。内部には東方正教会(ギリシア正教)の教義に基づく **C** 壁画がほどこされている(図2)。これは色ガラスや大理石を小さな方形に切って、壁に埋め込むことによって図柄を描き出す技法である。**A** 帝国は1453年にオスマン帝国のスルタン、

D 2世によって滅ぼされた。図1に見える細くとがった塔は、**D** 2世が聖ソフィア聖堂をイスラーム教のモスクとして用いるために新たに建てた **E** である。

設問1 **A** に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ ラテン ロ 神聖ローマ ハ ビザンツ ニ 西ローマ

設問2 **B** に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ ラヴェンナ ロ イェルサレム ハ コンスタンティノープル ニ ローマ

設問3 **C** に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ 肖像画 ロ モザイク ハ 細密画 ニ フレスコ

設問4 **D** に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ バヤジット ロ メフメト ハ セリム ニ スレイマン

設問5 **E** に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ シナン ロ ミナレット ハ バシリカ ニ シナゴーク

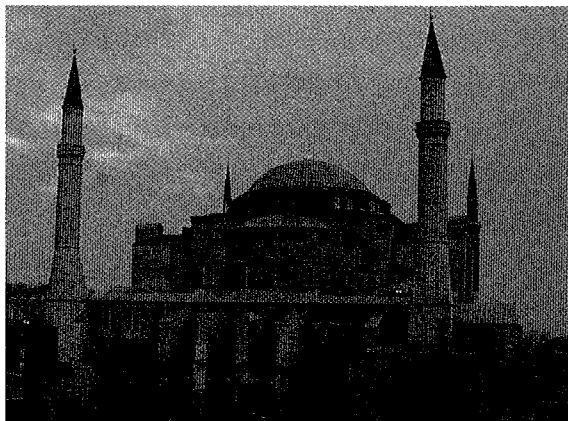


図1 聖ソフィア聖堂

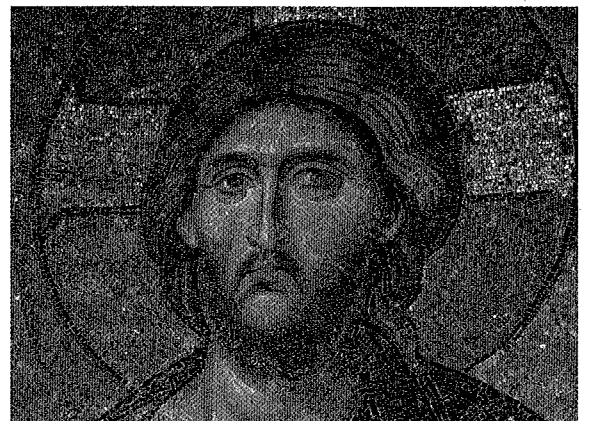


図2 聖ソフィア聖堂壁画

[V] 以下の①, ②, ③のそれぞれの設問について、指示に従いマーク解答用紙または記述解答用紙に記入しなさい。

①

文字の発明は文明の証しであるが、戦争も、すでに前3千年紀のオリエントでは王の功業として文字に記される。前2千年紀になるとオリエント世界は列強が争う時代になっており、戦術や戦闘の経過を知りうる詳細な記述を残すのがカデシュの戦いである。前1千年紀に歴史書が登場すると、たとえば、**B** が『歴史』に書き留めたのがペロポネソス戦争であるように、戦争の記事にあふれる。不幸なことに戦争もまた文明の賜物と言えるかもしれない。

時代を経るほどに戦争は大規模になる。前1千年紀にはアッシリアやペルシアという大帝國が出現するが、この千年紀の最後の時期にローマはカルタゴを征服することで地中海世界の制覇に道筋を付けた。紀元後の7世紀に成立したイスラーム教は、その軍団がニハーヴァンドの戦いで **E** を破ることで、西アジアに勢力を確立し以後の発展を可能にした。

設問1 下線部 (A) に関連して、エジプトが戦った相手国は次の中のどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つマークしなさい。

a アッシリア b バビロニア (カッシート朝) c ヒッタイト d ミタンニ

設問2 **B**に入る適切な人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部(C)に関連して、次の文章の中で正しいのはどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つマークしなさい。

- a キュロス2世はメディアから独立し、アッシリアを滅ぼすことで大帝国を築いた。
- b ダレイオス1世がはじめた3度のギリシア遠征に失敗すると、この国はギリシア世界への不干渉を国是とした。
- c この国は、善悪二元論のゾロアスター教を保護した。
- d この国は、ユダ王国を滅ぼし、その宗教を徹底して弾圧した。

設問4 下線部(D)に関連して、次の文章の中で正しいのはどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つマークしなさい。

- a この国は、伝説によれば、フェニキア都市シドンの植民都市として始まった。
- b この国は、第1次ポエニ戦争のとき、シチリア島を失った。
- c 第2次ポエニ戦争のとき、この国のハンニバルは、長駆イタリア半島に侵入しタレントゥムでローマ軍を撃破した。
- d この国は、第3次ポエニ戦争で、ローマの大スキピオにザマの戦いで敗れ、すべての海外領土を失った。

設問5 **E**に入る適切な語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

②

中世ヨーロッパの戦いは、ヨーロッパの封建制度に基づいて、主君に奉仕する騎士が中心になって行われた。初期の有名な騎士の戦いには、フランク王国の騎士軍がイスラーム軍を破ったトゥール・ポワティエ間の戦いがあるが、その後、十字軍のときにも騎士は活躍し、聖地エルサレムの防衛のために、宗教騎士団も創設された。騎士は中世ヨーロッパ社会のなかでその地位を高め、貴族階層を形成したが、都市民が台頭し、軍事技術も発達すると、戦いでは騎士に代わり、傭兵や市民軍が中心になった。

騎士軍の没落を象徴的に表す戦争が、14世紀半ばにイギリスとフランスとの間で始まった百年戦争である。百年戦争では最初、エドワード3世が率いるイギリス軍が新しい軍事技術を用いて、**D**の戦いでフランスの騎士軍を圧倒し、そののちイギリスは、フランス国内の混乱に乗じて優勢に立った。しかしフランスは、国王**E**のときに、ジャンヌ＝ダルクの活躍もあってイギリス軍を大敗させ、形勢を逆転させる。この時期にフランスは、封建的な騎士軍に代わり常備軍を設置し、最終的に百年戦争に勝利した。

設問1 下線部Aに関する説明として誤っているものは次のどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

- イ この制度は、主君と家臣の契約からなり、主君が契約に違反すれば家臣は服従を拒否できた。
- ロ この制度は、ローマの恩貸地制とゲルマンの従士制に起源をもつ。
- ハ この制度は、官僚に支払う給与の代わりに土地の徴税権を与えたことから始まった。
- ニ この制度は、貨幣経済が未発達で土地や現物が価値をもつ社会を背景に成立した。

設問2 下線部Bのうち、十字軍終了後、バルト海沿岸に植民した騎士団の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cの原因として誤っているものは次のどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

- イ フランスが、イギリスと経済的に関係が深いフランドル地方を支配下に置こうとした。
- ロ 教皇庁がアヴィニョンに移り、フランス王の影響下に入ったので、イギリスが反発した。
- ハ フランスが、イギリスの領有する南フランスの地域を王国に編入しようとした。
- ニ フランスの王朝の直系が断絶し、同じ家門の血を引くイギリス王が王位を要求した。

設問4 **D**に入る戦いの名前は次のどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

- イ クレシー
- ロ ヘースティングズ
- ハ ポワティエ
- ニ レヒフェルト

設問 5 **E** に入る国王の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

③

16世紀から19世紀のヨーロッパにおける戦争について以下の設問に答えなさい。

設問 1 以下の戦争の内容について誤っているものはどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

- 1 レバントの海戦で、オスマン帝国はスペインなどからなる連合艦隊に敗れた。
- 2 イギリス人ドレークは、スペイン無敵艦隊との戦いで活躍した。
- 3 ドイツ農民戦争が始まると、ルターは宗教改革を推進するものとして終始農民側を支援した。
- 4 オスマン帝国は、プレヴェザ海戦でスペイン・ヴェネツィアなどからなる連合艦隊を破った。

設問 2 三十年戦争時、バーメン出身の傭兵隊長で皇帝側につき、新教軍を撃退したものの、その野心を疑われ皇帝派に暗殺された人物の名を記述解答用紙に記入しなさい。

設問 3 スペイン継承戦争後のユトレヒト条約でイギリスがフランスから獲得した領土はどれか。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

- 1 ニューファンドランド
- 2 ルイジアナ
- 3 フロリダ
- 4 マルタ島

設問 4 1777年10月、ニューヨーク州ハドソン川上流で、アメリカ軍がイギリス軍を降伏させた戦いはなにか。記述解答用紙に記入しなさい。

設問 5 フランス革命からナポレオン独裁期にかけての戦争に関連した説明のうち、誤っているものを一つ選びなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

- 1 1793年、イギリス、スペイン、プロイセン、オーストリアなどによって第一回対仏大同盟が結成された。
- 2 1798年、ナポレオンはイギリスとインドの連絡を絶つべく、エジプト遠征を始めた。
- 3 1805年、トラファルガーの海戦でイギリスはフランス・スペイン艦隊を破り、ナポレオンはイギリス侵攻を断念することとなった。
- 4 1807年、ナポレオンはティルジット条約でイギリスと和平を結んだ。

〔Ⅵ〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問 1～5 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 6 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

北京の朝廷にとってアヘン戦争は、はるか南で起こった一地方の紛争のような気分であつたらう。しかし、南京条約の五港開港や賠償金の支払いなどから生じた社会変動や重税が深刻な社会不安を引き起こし、反乱が続発すると問題は他人事ではなく、客家の洪秀全がたてた太平天国が、民衆の不満を吸収して急速に勢力を拡大し、さらなる利権を求めるイギリスは、フランスをまきこんで第2次アヘン戦争を起こした。講和後に締結した天津条約の批准使節が虐殺されると、英仏連合軍は北京に侵入、報復として円明園を焼き打ちした。ヨーロッパ人が首都に乱入し、時の皇帝咸豊帝が熱河に逃げだすという、前代未聞の事態となつたのである。再度の屈服で結ばれた北京条約によって大幅な利権を獲得した英仏は、清朝側について太平天国軍と戦つた。結局、太平天国は内紛もあつて鎮圧されたが、清朝政府や正規軍の八旗・緑營の無能ぶりが明らかとなつた。ここにいたって漢人官僚は富国強兵を目標に、洋務運動とよばれる軍事力強化を中心とした近代化事業を始める。これが、近代への中国の最初の積極的反応であつたが、その基本精神は、中体 **A** との考えであつたので、立憲君主制の導入など政治制度の変革は求められなかつた。

設問1 下線部1にいたる経過として正しい説明はどれか。

- イ イギリスは、インドから輸入した紅茶の支払い代金を得るために、中国にアヘンを輸出して銀を得ていた。
- ロ 清朝は、特産品の輸出対価で銀を得ていたが、アヘンの密輸入が増大して、銀が流出するようになった。
- ハ イギリス東インド会社は、中国貿易独占の特権を利用して、アヘンの中国輸出を激増させた。
- ニ 清朝治下の農民は、銅銭で納税していたが、海外流出による銀の欠乏は実質的な減税効果をもたらした。

設問2 下線部2によって崩れた貿易システムはどれか。

- イ 公行貿易
- ロ 市舶司貿易
- ハ 勘合貿易
- ニ 自由貿易

設問3 下線部3のスローガンに含まれないものはどれか。

- イ 土地均分
- ロ 滅満興漢
- ハ 纏足廃止
- ニ 弥勒下生

設問4 下線部4の条項のなかで、清朝が中華王朝から主権国家への変化を強制させられたことを象徴する項目はどれか。

- イ 800万両の賠償金
- ロ 外国公使の北京駐在
- ハ 九龍半島の南部割譲
- ニ キリスト教布教の自由

設問5 下線部5の説明として誤っているものはどれか。

- イ 八旗は満州人のみによって構成された。
- ロ 緑営は漢人のみによって構成された。
- ハ 八旗の旗人は支配階級を構成した。
- ニ 緑営は明朝の滅亡にともない編成された。

設問6 下線部6の文章が、二重下線部の洋務運動についての説明となるよう、Aに30字以内の文字を記入しなさい。句読点も1字とする。

〔Ⅶ〕 1870年代から第1次世界大戦の時期にかけて、欧米列強が世界の各地を植民地や勢力圏に分割していったいわゆる「帝国主義の時代」が存在した。下の地図に関わる地域でもその時代に特徴的な事件や事態が生じた。それらに関わる設問1～5に答えなさい。

設問1 地図中Aの国に関する以下の記述で、正しいものを一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア マフディー派の抵抗によって、イギリスのこの国への進出は大幅に遅れた。
- イ ベルリン会議（1884-85）はアフリカ分割を協定するための国際会議で、フランスのこの国に対する支配は列国に承認された。
- ウ ウラビーの反乱後、フランスはこの国の保護国化を促進させた。
- エ 独立闘争を指導し、1922年にはほぼ独立を達成させたのはワフド党である。

設問2 地図中hは1869年に開通した運河である。それに関わる以下の記述のうち、正しいものを一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

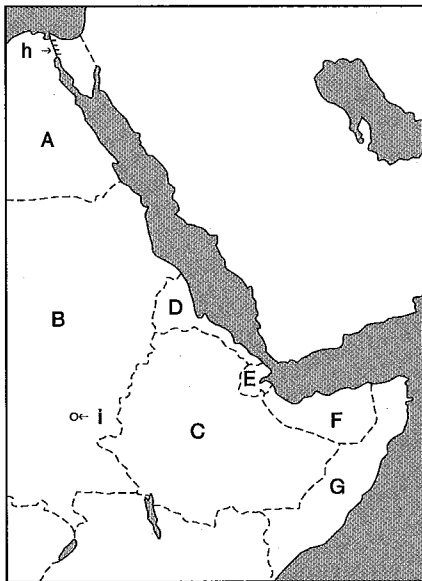
- ア イギリス人レセップスによって建設され、その後運河はナセルの国有化宣言までイギリスに支配された。
- イ 建設後イギリスが運河株を買収し、1882年の反英武装蜂起を理由に運河地帯を軍事占領した。
- ウ 第1次中東戦争はこの運河の支配権をめぐる争われた。
- エ ナセルはこの運河の国有化を宣言し、それが発端で第3次中東戦争が勃発した。

設問3 地図中B内のIの地点で、イギリス軍とフランス軍が衝突・対立した。この事件の後に起きた事柄を次の中から一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ケープ植民地のイギリス領化
- イ フランスのチュニジア保護国化
- ウ 英仏協商の締結
- エ 自称「誠実な仲買人」ビスマルクの辞職

設問4 地図中Cは「帝国主義の時代」にあっても西欧列強に干渉・侵入されつつも、独立を維持した。そのC国の領土内にあったDは、列強の中でも遅れてアフリカに侵出したイタリアが1885年に占領し分離させた地である。その地の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 地図中E, F, Gは「アフリカの角」と呼ばれる地域である。「帝国主義の時代」にEはフランス, Fはイギリス, Gはイタリアの植民地となり、とくにEはフランスの「アフリカ横断政策」の東端の地となった。その地名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。



[以下余白]

